

# 令和3年度第1回 西宮市健康増進計画・食育推進計画推進会議 議事要旨 【書面開催】

## 1. 開催形態

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催とした。

## 2. 審議期間

令和4年（2022年）3月7日（月）から令和4年（2022年）3月18日（金）まで

## 3. 出席者

13名中13名

朝倉 利加子、石飛 弥生、川上 マユミ、川崎 史寛、岸本 三香子、齋田 久子、澤田 朗、白石 雅照、高尾 一人、坪内 久美子、内藤 義彦、林 宏一、山内 豊弘（敬称略、五十音順）

## 4. 資料

議事次第

- 資料1 西宮市附属機関条例
- 資料2 西宮市健康増進計画・食育推進計画推進会議運営要領
- 資料3 西宮市健康増進計画・食育推進計画推進会議の運営に関する取り扱い
- 資料4 委員長・副委員長の選任について
- 資料5 令和2・3年度「新・にしのみや健康づくり21（第2次）西宮市健康増進計画」活動指標評価シート
- 資料6 令和2・3年度健康づくり事業状況一覧
- 資料7 令和2・3年度「西宮市食育・食の安全安心推進計画」活動指標評価シート
- 資料8 令和2・3年度食育・食の安全安心推進事業状況一覧
- 資料9 令和3年度健康づくり及び食育に関する新規事業及びコロナ禍における取組状況シート
- 資料10 計画期間の延長及び次期計画の策定に向けて
- 参考資料1 （国）「第4次食育推進基本計画」の概要
- 参考資料2 （国）「次期国民健康づくり運動プランに向けての課題について」

5. 議事

(1) 委員長、副委員長の選任について 資料4

承認 13名 不承認 0名

委員 13名中 13名より承認を得たため、内藤委員を委員長、川崎委員を副委員長とする。

(2) 「新・にしのみや健康づくり（第2次）西宮市健康増進計画」に基づく令和2・3年度の  
取り組み状況の報告 資料5・資料6

同意 13名 不同意 0名

委員名	ご意見・ご質問	市回答
A 委員	ラジオ体操の会を実施している地域は山口保健福祉センター周辺だけですか？	保健福祉センターを会場として定期的に活動を行っているのは山口保健福祉センターのみです。
B 委員	コロナ感染症感染拡大に伴い、様々な施策は中止を余儀なくされた。今後、“人が集まる”ことは難しいと思われ、取り組みのPR・実施は難しいかもしれない。WEBを利用する等の新たな方法を検討した方が良いかもしれない。（年代によって最適な方法を検討する必要はある）	新型コロナウイルスにより対面型事業が中止となり、ホームページでの啓発や食育・健康づくり応援団に協力いただきリーフレット等の配布を中心に行っているところです。今後も感染状況を考慮しつつ、対象者の特性や啓発内容を踏まえた最適かつ効果的な手法を検討してまいります。
C 委員	二十歳の歯科健診については、インセンティブを検討してもらいたい。	西宮市歯科医師会との協働事業として「二十歳の歯科健診」を実施しており、受診率向上のための取組みとして、受診勧奨ポスターの掲示や成人式でのリーフレット配布等の啓発を行っているところです。インセンティブの仕組みは市民の主体的な健康づくりの取組みを強化する上で有効な施策の一つと考えており、今後、受診率の向上にむけて、費用対効果や継続性のある取組みを検討してまいります。

D 委員	新たな感染症や戦争の不安がある中で、緊急時と平時の両場面で安心・安全を最大化するための体制づくりが必要であり、市民との協働を強化する必要があると考えられます。	世界情勢を踏まえ、SDGS（持続可能な開発目標）を意識し、「西宮市健康増進計画」の推進に取り組んでまいります。
------	---	---

(3) 「西宮市食育・食の安全安心推進計画」に基づく令和2・3年度の取り組み状況の報告

資料7・資料8

同意 13名 不同意 0名

委員名	ご意見・ご質問	市回答
B 委員	コロナ禍での食生活は大きく変化したと思われる。外食が減少し、家庭での食事が増加した。テイクアウトも増加した。働く親にとっては大きな負担となる。この状況下で新たな形で食育・健康といった点をPRする必要があるかも知れない。	コロナ禍の影響により、家庭での食事状況や外食・中食の利用状況、食品の摂食頻度、共食状況等の食生活が大きく変化している状況を踏まえ、対象者のニーズやライフステージに応じた啓発方法を検討してまいります。
D 委員	新たな感染症や戦争の不安がある中で、緊急時と平時の両場面で安心・安全を最大化するための体制づくりが必要であり、市民との協働を強化する必要があると考えられます。今後、食料危機が起こる可能性が大きいので、このような事態の想定も必要と考えます。	世界情勢を踏まえ、SDGS（持続可能な開発目標）を意識し、「西宮市食育・食の安全安心推進計画」の推進に取り組んでまいります。

(4) 令和3年度 健康づくり・食育に関する新規事業及びコロナ禍における取り組みについて

資料9

同意 13名 不同意 0名

委員名	ご意見・ご質問	市回答
B 委員	外食が減少し、家庭での食事が増えているので、感染症予防、食中毒の注意喚起が必要となるかも知れない。	市ホームページ、市政ニュース等の活用や事業者への監視指導により、食中毒等に対する注意喚起を行ってまいります。

(5) 計画期間の延長及び次期計画（西宮市健康増進計画・食育推進計画）の策定に向けて

資料10・参考資料1・参考資料2

同意 13名 不同意 0名

委員名	ご意見・ご質問	市回答
D 委員	新たな感染症や戦争の不安がある中で、緊急時と平時の両場面で安心・安全を最大化するための体制づくりが必要であり、市民との協働を強化する必要があると考えられます。	世界情勢を踏まえ、SDGS（持続可能な開発目標）を意識し、次期計画の改定に取り組んでまいります。

(6) その他、委員からのご意見・ご質問

委員名	ご意見・ご質問	市回答
A 委員	持続可能な食を支える食育の推進の中で、有機農業をはじめとした持続可能な農業生産などに関して国民の理解と関心が必要であるように書かれていますが、国は食料自給率を上げるための対策として何をしているのでしょうか。食の安全安心を考えると地産地消が望ましいと思います。そのためには自給率の向上が重要課題だと考えられます。その上で危険なネオニコチノイド系農薬の使用中止や有機農業の推進が必要だと思います	貴重なご意見ありがとうございます。西宮市においても、国の動向を注視しながら、持続可能な食を支える食育の推進に取り組んでまいります。
C 委員	こころの問題については、当事者へのレジリエンスを向上させる取り組みが必要では。提供側が受け身の体制ではこの問題の解決は難しいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。
E 委員	COVID-19で厳しい社会状況の中での行政活動に対し、敬意を表します。今後ともよろしく願いたします。	